

特集

未来を育む これからの学校

「教育は最良の投資」という考えのもと、教育の質を高め、これからの時代にふさわしい教育環境を目指す「学びのリビルド（再構築）」を進めています。

問い合わせ
教育庶務課　☎24・8121

小松のイマ

少子化は今後、更に加速すると予想されています。児童・生徒数の減少は、学び合いや切磋琢磨する機会や学校行事、人間関係の形成など、学校教育に大きな影響を及ぼします。

【小学生】

2025年度	2040年度
5,326人 →	約3,500人

約34%down

【中学生】

2025年度	2040年度
2,827人 →	約2,000人

約29%down

※市教育委員会推計



学校の規模・配置の最適化

3月に「小松市学校規模及び配置最適化基本方針」を策定しました。

子供たちが互いに学び、多様な考えに触れながら成長できる環境を維持するため、小学校では各学年2～3クラス、中学校では4～6クラス程度になるよう、2040年を見据えた具体的な構想づくりを進めています。



「良質な学び」を未来の子供たちに

“未来につながる教育環境づくり”

一人ひとりに寄り添う学び

「学びの多様化学校」

学校に行きづらさを感じる子供たちの「学びたい」という気持ちに応える新たな学びの場を整備します。

開校時期　2028年4月（予定）
設置場所　現在の小松大谷幼稚園（丸の内町）
対象生徒　①市内の中学校、義務教育学校後期課程に在籍（見込みを含む）
②不登校状態または不登校の傾向にある
③生徒・保護者が希望し、学ぶ意欲がある

特徴
- 少人数できめ細やかな指導
- 一人ひとりのペースに合わせた学習
- 体験活動や探究的な学びを重視
- 相談体制の充実



問 学校教育課　☎24・8122

ICT・生成AIで新しい学びを



芦城小学校・芦城中学校が文部科学省の生成AIパイロット校に選定されました。ICTや生成AIを活用しながら、子供たちが情報を主体的に活用し、課題を解決する力を育んでいます。



- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 探究的な学びの実現
- 教員の授業力・指導力の向上
- 市全体への成果の共有・展開

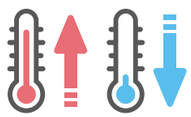
問 教育研究センター　☎24・8174







安心して学び、運動できる環境へ



「体育館空調整備」

子供たちの安全・安心な教育環境の確保に向け、市立全小中学校・義務教育学校の体育館を対象に、来年度から5年間を基本として空調整備を集中的に進めます。

- 快適な学習・運動環境の確保
- 熱中症対策の強化
- 災害時の避難所機能向上
- 計画的・段階的な整備の推進

問 教育庶務課　☎24・8121